

ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2011年9月18日現在

概況 ワシントン州東部の2011年9月18日に終わる1週間の気象は、季節外れの高温は週の半ばに急転し気温は下がり、温暖な乾燥した秋の気象となった。EC地区の最高気温は週前半に記録した93~95度Fであったが、その後日中の気温は下がった。1週間の降水量は0.03~0.07インチであった。SE地区の最高気温は90~98度Fであり、これらの気温は週前半に記録された。1週間の降水量は0.02~0.10インチであった。1週間の州平均農作業稼働日数は6.2日(前週:6.9日)であった。Topsoil及びSubsoilの土壌水分は“Short”から“Very short”へ以降する圃場があったが、5年平均より良い状態が続いた。2011年産冬小麦の収穫は全州にて完了した。収穫の完了時期は概ね昨年と同じであった。今期の冬小麦の単収は昨年以上と期待された。春小麦の収穫が進んでLincoln郡では収穫の完了は9月23日頃と見込まれた。春小麦は全州の95%にて収穫が完了した。昨年より概ね1週間の遅れであった。2012年産冬小麦の播種はEC地区調では最盛期となり、SE地区のWalla Walla郡では降雨と共に開始され、Whitman郡では5%の圃場にて播種が完了した。早くに播種された圃場では出芽が始まっており、15%の圃場にて出芽した。昨年より多少出芽は遅れていた。

Wheat Marketing CenterによるSE地区からの84点のSoft White Wheatのサンプルの分析結果(平均値)では、FN値は314、蛋白質は9.6%、水分9.3、容積重は61.5 lbs/buと報告された。Club WheatはFN値302~310、蛋白質は7.5~8.5%、容積重は59.6~61.2 lbs/buと報告された。2011年産Soft White Wheat(Clubを含め)は、昨年より高容積重、低蛋白質の傾向にある。FN値は昨年より低目であった。

2011年9月18日現在：土壌水分及び灌漑用状況(*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	17	35	43	5
	Last week	12	41	44	3
	5-Yr Ave.	17	36	45	2
Subsoil	This week	5	49	45	1
	Last week	3	43	53	1
	5-Yr Ave.	16	44	40	0
Irrigation	This week	0	4	93	3
	Last week	0	3	92	5
	5-Yr Ave.	2	4	94	0

2011年9月18日現在：冬小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Harvested	100	98	100	100
2012 Crop Planted	47	30	48	49
Emerged	15	5	23	13

2011年9月18日現在：春小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Harvested	95	83	98	99

(*) Source: Washington Agricultural Statistic Service, NASS, Oregon Field Office, 5-Yr Ave means average of past 5 years 2006,2007,2008,2009 and 2010 Crop year.

以上

ご質問又はご意見は、OMIC USA Inc.小川正晃 ogawa.max@omicnet.comまでお願い致します。 1

© Copyright 2002-2009 OMIC USA Inc. All rights reserved.